

豊かで 住みよい 町づくり

議会だより



上 勝

かみかつ

9月定例会

VoL. 27 2007. 11.1 発行



- 9月定例会 2 ▶ 3
- 一般質問 4 ▶ 8
- 視察報告 9
- 町内行政視察 10 ▶ 11
- 写真で紹介
● まちのようす・編集後記 12

補正 (第2号)

- 財政調整基金積立金 **5,000万円**
- 災害復旧費 **8,657万9千円**
- 老人ホーム解体費
地域住宅交付金事業設計費 **1,274万円 など**

計 **1億5,981万9千円**

総額 **25億9,203万6千円** に



旧老人ホーム



外部施設等監査 (上勝バイオ)

平成18年度一般会計
決算認定は討論、採決
で可決、他9件は原案
どおり可決した。

補正予算他2件、町
道認定1件、原案ど
おり可決した。

議会から上勝町議会
委員会条例の一部を改
定する条例について、
条例改正案を発議し、
原案どおり可決した。

第3日 9月25日

第3回 定例会

会期 13日
開会 平成19年9月13日
閉会 平成19年9月25日

平成18年度 決算認定

- 一般・特別会計歳出総額 **33億7,773万3千円**
- 基金残高 **32億7,734万2千円**
- 地方債残高 **38億4,723万7千円**

9月定例会

第1日 9月13日

笠松町長から提案理
由説明後、平成18年度
決算認定10件、両財産
区の決算認定2件、上
勝町乳幼児等医療費の
助成に関する条例の一
部を改正する条例につ
いて1件、平成19年度
一般会計補正予算(補
正第2号)他2件、町
道路線の認定について
1件が上程説明された。

第2日 9月20日

5議員が一般質問を
した。

9月定例会の一般質問には
5人が質問しました。

一般質問

町政を問う



岡本 力 議員

県道 徳島—上那賀線の 菅蔵工区の測量費確保

問 県道徳島—上那賀線、菅蔵工区の危険箇所予算、進捗状況計画等は。

答 町長 菅蔵の村上様宅下のコンクリート擁壁の改良工事の測量設計業務が8月に発注され、工期8月25日～11月25日までとなっている。測量結果を踏まえて検討。一生懸命予算確保に努めたい。

地震、台風 災害対策は

問 地震、台風災害で辺地が孤立し、生命に緊急な状況が生じた場合、ヘリコプターの要請出来るか。基準、基地の確保、他の条件はあるか。

答 町長 365日要請できる。ヘリは日の出から日没まで、天候によって運行出来ない場合がある。要請の基準、救急搬送、救助活動、山林火災等で要請が必要と町長が認めた場合である。着陸には最低20m四方で周辺の進入に障害物がないこと等が要件となる。

問 町営住宅、教員住宅、2億円で完成出来るか。

答 町長 現在1億9千万円で施行している。一部地域材を使いたいのが、2億円程度で完成出来るかと聞いている。

問 耐震診断を受けている住宅は何戸あるか。昭和56年以前の住宅は何戸あるか。公的な支援策について。

答 町長 資本金と資産の合計の範囲が最高とされている。債務超過にならないよう運営をしていきたい。指定管理者として協定書に基づいて管理運営を行なっている。赤字の場合は減免出来ることになっている。今後も協定書に基づき雇用の場の確保、産業振

問 湧水による飲料水対策は市宇地区、府殿地区等、町の事業として行なうのか、小規模給水設備事業で行なうのか。

答 町長 水源の確保が出来れば、湧水時に調査したい。市宇については今のいきゅう簡水を出る限り利用すべきと考えている。府殿等についても地元より候補地を出してほしい。出来る限り交付金事業、補助事業等を計画的にやっていきたいと考えている。

国民文化祭 作品の今後の活用は

国民文化祭は

問 現時点、事業費、予算書のとおり進んでいるか。科目間の流用はあるか。

答 町長 最終的に200万円程の不要額が出る予想。大きな科目間流用はない。

答 町長 看板の設置、シャトルバスの運行、総合案内所等、行程にそって推進している。

産業振興は

問 5地区の作品の管理活用を今後どのように考えているか。

答 町長 通常の管理は周辺の有志に委託等でお願し、観光スポット、学校の美術等の教材として活用したい。

問 町内農林業等の鳥獣の被害状況は。

答 産業課長 被害の把握は充分できていない。

問 被害防止対策はあるか。

答 産業課長 電気柵もあるが、上勝にあった防止策を模索する。

問 建設業の事業量が大幅に減少しているが対策はあるか。

答 町長 徳島県では徳島地域産業活性化協議会を立ち上げ支援する計画。この支援策を踏まえ町も対応したい。

町道の管理は

問 町道の総延長及び登記事務は進んでいるか。

答 建設課長 169路線、171kmである。登記済みは131路線、146km、率にして85・5%。

問 断もある。作業日誌等は時間的に細かくつけているか。

答 町長 現在の空き戸数はいくらあるか。

答 建設課長 5戸で即入居可能である。

問 正木町営住宅について、建設後漏水等があった場合はどのような契約になっているか。

答 建設課長 品質確保促進法により防水工事等主なものについては10年間保証。

問 正木町営住宅について入居者と名目の関係につき要望があれば検討するか。

答 町長 検討する。

美木 章 議員





多田和幸 議員

集会所の維持管理

問 高齢化が進み費用負担ができない地区集会所の補修は

答 総務課長 拠点施設は重要であり、地域コミュニティの充実ということで意欲的な取り組みをしている所には特別に支援していくことも必要である。行政改革中であり、どのような支援があるか検討する。



消防・組織

問 全国的な流れは広域化に向かっているが、本町の常備消防についてどのように考えているか。又東部地域市町村長懇話会ではどのような話になっているか。

答 総務課長

財政事情、人口減少等を考えると、常備消防設置は厳しい。今年県において消防広域化の推進計画を立てるので、常備消防を検討するよい機会である。東部地域市町村長懇話会では、消防相互応援協定を結び協力する。広域消防については検討しない。

国内最大の情報化イベント

県の予算もあまり期待できない。町としては12月までに内容をまとめ、当初予算に計上したい。

問 野外アート、来年以降の作品の計画は。

答 町長 今回の反省をして、3、4年に1回継続的にできれば、そして、10・20・30年続ければ里山の再生になる。

問 来年秋に開かれる「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」はどのような催しか。予算はどのくらいか。

答 町長 具体的には、なにも決まっていはいない。今までは展示会的な要素が多かったが、上勝町の特性を生かしたものにしたい。

若者の失業問題

問 地元商工業は、業績不振で倒産または寸前と言われている。商店も売上低迷と聞く。実態と対策を聞きたい。若者定住と雇用についてどう考えているか。

答 町長 建設業者調査では、約14%の人員削減。買い物にも影響が出るかと思う。商店街の売り上げには、敬老式記念品を商品券で渡すなどした。雇用の場合は、上勝バイオが、若返りのため社員募集したが、応募は5名しかなかった。建設業者は、自主的に職種の転換をやっていたらいい。

子供の医療費無料化

問 小学卒業までの子供の医療費を無料化するべきではないか。周辺の町村より遅れている。

答 住民課長

町長より具体的に指示を受け検討中だ。

答 住民課長 第三段階までだしている市町村は少ない。

後期高齢者医療制度

問 後期高齢者すべてに負担が課せられ、診療も抑えられる。「死ぬということか」と怒っている。負担しきれない人がでる。町独自に減免制度をつくるべきか。

答 町長 実態に即した負担軽減策は、次期契約更改までに勝浦町と相談し、充分検討する。

地域情報化

問 アンケートの結果はインターネットをしていない。7割以上が楽ビジョンを使っていない。アナログテレビを見ているだけだ。町も実態調査をして生活弱者に減免制度をつくるべきではないか。

答 住民課長

新たに国保税を課せられるのは約170人である。保険料の額はまだ決まっていない。町独自の減免制度を検討しなければならぬ時が来ると、受け止めている。

答 町長 実態に即した負担軽減策は、次期契約更改までに勝浦町と相談し、充分検討する。

問 傍示と南岡アパートの入居者は、1万2,000円、自宅新

台風襲来時の電源確保

問 大川原高原に変電所が出来る。安定した電源だ。台風襲来時の長時間停電に備え、迂回ルートを作るように四電に要望してはどうか。

答 町長 非常に難しいようだが、最大限努力していただくようお願いしたい。

土石流危険渓流の改修

問 危険渓流指定個所で危ない所が多々ある。住民から再三要望されている所が放置されている。災害が起これば人災と言われてもしかたがない。来年度予算はどう考えているのか。

答 建設課長

すぐには難しい。災害が予測されるときには住民から避難していただきたい。今後予算において対策工事もお願いでいく。

議会だより26号P5段4行目、建設を建物に訂正します。

明本恵一 議員





藤田 欣宏 議員

国民文化祭

問 「上勝アートプロジェクト」里山の彩生として参加しているが、最高責任者は、

答 町長 実行委員会会長の私です。

問 企画委員長は徳島大学の河崎先生では？制作責任者は、管理責任者は、維持管理責任者はだれか。

答 町長 河崎先生は町からお願いをしているだけで、最終的に決めるのは町で、これはすべて担当部局は

産業課である。その責任者は産業課長になる。

問 作品制作に要した延べ人数は、

答 町長 時間数に違いはあるが、2, 3, 4, 9名である。(9月20日現在) まだ完成していない所もあるし、いろんな形で出役をいただくことになる。

問 制作に関し地域間格差をどう思うか。

答 町長 作家により大きさ、材料、工法に差があり、地域間格差はやむを得ないと考える。

問 トリエンナーレを考えているが、今年度と思うとどのように考えるか。

答 町長 初めての取り組みであり、実行委員会等の



意見、北川フラム先生や河崎先生等の意向、いろんな意見を聞いて、3年に1回弾力的に4年に1回、場合によっては別の方法も考えられるが、できれば継続をし、効果の出る形で、里山の再生のきっかけになればと思っている。

ただ、また同じようなことをするのか。ボランティアも、もうたまたまらわとの意見もあろうと

思いますので、十分検討し対応していきたい。

問 作品はたれのものか。

答 町長 町のものである。

問 観覧者等の人身事故、又作品の崩壊保険等はどのように考えるのか。

答 町長 最高責任者は町長である。保険については詳しくチェックをする。

楽ビジョン

問 利用度はどうか。

答 町長 勝浦町と合わせて3,000回程度のアクセスがある。上勝町も1日50回程度ある。

問 この町ワンダフルの中の上勝町長からのひとことを再考しては。

答 町長 一番目立るところなので、住民に必要な情報を提供できるように検討したい。

議会運営委員会視察報告

目的：議員定数減に伴う少人数での議会運営方法、委員会の設置及び定数等について研修。
内容：西粟倉村は岡山県の北東端にあり、人口約1700人、面積57km²。議員定数は平成7、15年まで10名、平成15年4月から現在は8名である。総務常任委員会4名、産業建設常任委員会4名、議会運営委員会3名。議会運営委員会の構成は、副議長と各常任委員長とする。

日時：平成19年7月19日
場所：岡山県英田郡西粟倉村議会
出席者：美木 章
阪松明義
藤田欣宏
議会事務局長



(美木)

議員定数が少なくなる、議員個々がより責任が重くなり常に自覚を持って行動すべきである。又議案採決にあたっては、少人数であればより慎重に審議をして採決をすべきであるとの意見を頂いた。この研修等をもとに上勝町議会の運営方法、委員会の設置について検討したい。

大川村、山村開発センターで、少人数で議会運営方法、委員会設置及び定数等につき説明がありました。大川村は、全国で2村しかない6名で議会運営をしている。常任委員会は月1回予定している。各議員がテーマを決めて勉強する提案型議会を目指す。議会無用論が若い人達から声があがっている。「例：総代会で決めたらよい」「各戸に放送を通して議会中継(有線放送) 昭和47年から実施。全員が一般質問、議長もあこなう。

本町も検討している里親制度を、ふるさと留学生として条例で昭和62年から実施。平成17年までに県内外から、小学校・中学校合計で90名余り受け入れた。数あわせは失敗する。交流が続くように専門的な知識を持った教育長が必要であるとのことでした。



(阪松)

日時：平成19年7月20日
場所：高知県大川村

町内行政視察

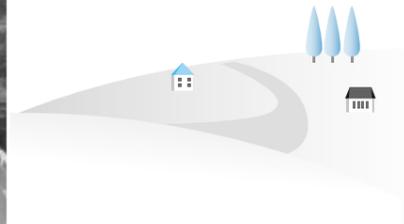
数字は制作延べ人数（10月5日現在）

日時：平成19年10月5日
参加者：高橋議長他8名
副町長
議会事務局長
担当課1名



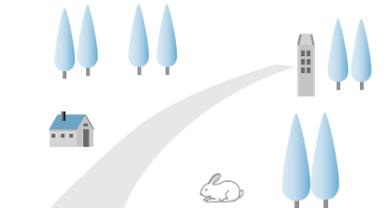
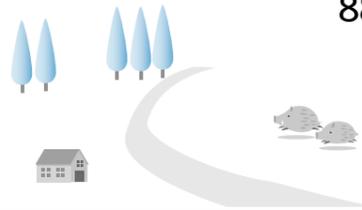
淵神の塔（正木）

420人



射手座造船所（傍示）

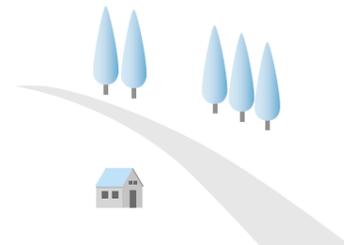
880人



東部広域農道（第三工区）

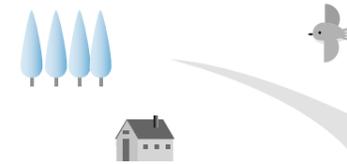


林道大川原旭丸線
（旭丸工区）



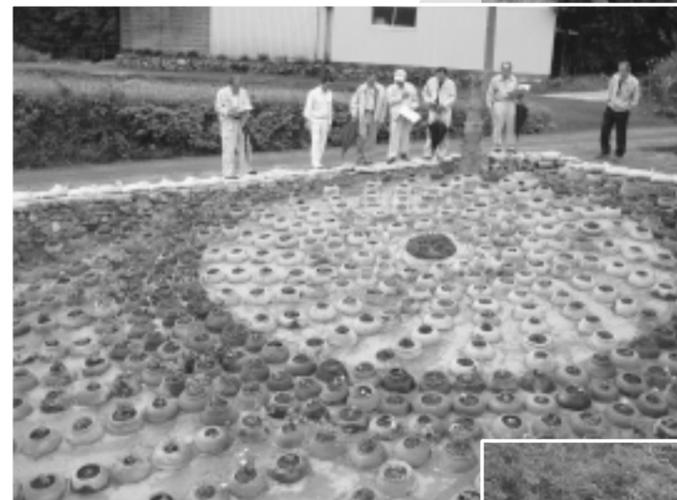
もくもくもく（旭）

610人



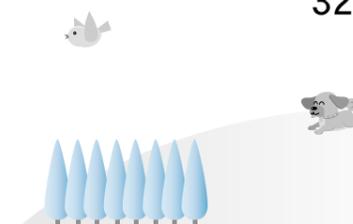
トポス彩2007（生実）

530人



時の橋（福原）

320人



写真で紹介 まちのようす



町営住宅（藤川）



残土処理場（福川）



県道改良（福川）



地域の安全を守る会（県道草刈り）



秋祭り（田野々）



そば（傍示）

つきさすような真夏の太陽
延々と続いた残暑だったこと
が、脳裏からはなれなかった
が、さすが11月の声をきくと
肌をさす風も秋一色となった。
日頃は議会だより発刊に教示
いただきありがとございま
す。今年は芸術のオリンピック
クともいおうか、春から国
文祭への挑戦。上勝5ヶ所で
作品づくり、材料の調達、老
若男女を問わず、それぞれ手
にあつた作業の連続、連チャ
ン。今まで一つの目標に向か
って、こんなに多くの町民が
地域を思いやる心を一つにし
て汗を流したことがあつたら
うか。

（西浦）

編集後記

